


質疑・一般質問

12月6日、7日、8日の本会議では、23人の議員が登壇し、教育環境の整備や市民病院の建て替えなどについて、市の見解を求めました。発言者と質問項目の一覧は下段に、主な内容は2面から5面に掲載しています。

なお、QRコードを読み取ると本会議の録画映像をご覧いただけます。



発言者一覧

— 発言順 — () は会派名
※所属会派は12月20日現在

- 三好 宏** (自民党 真誠会・代表質問)
①泉市長の責任の取り方 ②工場等の緑化に関する届出
- 松井 久美子** (公明党)
①議案第94号 令和4年度明石市一般会計補正予算(第8号)の生産・子育て応援給付金給付事業 ②「女性デジタル人材」の育成で、女性活躍の後押しを ③学力向上推進事業「数学・英語応援団」
- 吉田 秀夫** (明石かがやきネット)
①明石市職員の定年引上げにかかる諸課題 ②高齢者への認知症支援の取組 ③子どもたちを守る「人権教育としての性教育」の推進
- 林 健太** (自民党 真誠会)
①学校給食 ②各種申込みの電子化 ③泉市長がツイッターに書き込まれた「利権」「口利き」等
- 尾倉 あき子** (公明党)
①18歳までの児童手当の拡充でこども支援施策の充実を ②小学校給食の無償化 ③明石港周辺の再整備で「海のまち明石」のにぎわいづくり
- 坂口 光男** (自民党 真誠会)
①明石の地域コミュニティの醸成 ②高齢者福祉 ③報告第24号 令和3年度明石市一般会計歳入歳出決算不認定に係る措置の報告のこと
- 国出 拓志** (公明党)
①放課後児童クラブ ②(仮称)「未来につなぐ豊かな農業をつくる会」を立ち上げないか ③市民会館の建て替え ④明石市役所第1駐車場 ⑤敬老祝い金の見直し
- 種原 成人** (自民党 真誠会)
①新ごみ処理施設整備 ②新庁舎整備にかかる市長発言
- 飯田 伸子** (公明党)
①不登校児童・生徒へのタブレット端末を活用した学習支援 ②男性の育児休業取得のさらなる促進 ③AED(自動体外式除細動器)
- 井藤 圭順** (自民党 真誠会)
①救急れんらくばん ②明石市のハラスメント事案への対応 ③明石公園
- 佐々木 敏** (公明党)
①令和5年度予算 ②LGBTQ+にかかる小・中学生への教育と配慮 ③公共施設の近隣住民への配慮
- 寺井 吉広** (自民党 真誠会)
①移住・定住の促進 ②自転車利用環境
- 梅田 宏希** (公明党)
①泉房穂市長の発言の真意
- 石井 宏法** (自民党 真誠会)
①泉市長の発言
- 灰野 修平** (自民党 真誠会)
①泉市長に対する問責決議の原因となった事案にかかる認識
- 千住 啓介** (自民党 真誠会)
①特別支援教育 ②市長の暴言
- 辻本 達也** (日本共産党)
①新年度予算編成方針 ②議案第107号 地方独立行政法人明石市立市民病院第4期中期目標制定のこと ③交通安全対策 ④市政の諸課題
- 森 勝子** (維新の会)
①西明石駅を中心としたまちづくりと朝夕の駅環境整備 ②明石市立市民病院の建て替え ③人権問題
- 家根谷 敦子** (スマイル会)
①誰一人取り残さないまちづくり ②離婚後の養育費立替支援事業
- 宮坂 祐太** (フォーラム明石)
①立地適正化計画を踏まえた20年後を見据えたまちづくり
- 大西洋 紀** (未来明石)
①「パピオスあかし」 ②教育行政
- 丸谷 聡子** (かけはしSDGs)
①在宅医療への支援体制 ②高校生世代への支援の拡充 ③市民活動センターの増設 ④30 by 30(サーティ・バイ・サーティ)の観点から、大久保北部の里山の生物多様性を保護・保全すること ⑤公共施設の電気代等高騰対策としてのゼロエネルギー化・再生可能エネルギー導入
- 北川 貴則** (維新の会)
①コロナに負けない生活支援と福祉の充実 ②天文科学館の年末年始の閉館 ③2023成人式 ④好循環、人口増をもたらしている本市の今後の取組

2030年度末に供用開始 新ごみ処理施設 整備基本計画(素案)を作成

問 策定が遅れている新ごみ処理施設整備基本計画の進捗状況と事業費抑制のための取り組みについて聞く。

答 このたび、施設整備の基本的な方針をまとめた新ごみ処理施設整備基本計画(素案)を作成した。



老朽化が進む現在の明石クリーンセンター

パクトな施設を目指し、2036年度には、ごみの排出量を2018年度比で20%削減する数値を設定している。1月に素案のパブリックコメントを実施し、3月に計画策定を予定している。そして、2025年度に事業者を決定し、2030年度末の供用開始を目指す。事業費は、2019年時点で、整備費418億円のうち、市負担額を185億円、20年間の運営費を256億円と見積もっているが、

問 医療を取り巻く環境が変化する中、良質な安全・安心な医療を提供するには、医療設備の更新が必要である。地方独立行政法人明石市立市民病院第4期中期目標には、将来目指すべき医療体制の構築に向けて必要な検討

第4期中期目標を制定 市民病院の建て替え計画 求められる地域医療の在り方とは

今後、基本設計の段階で精査していく。なお、ごみ減量を達成するためには、市民や事業者の協力が不可欠であり、具体的な方法については、環境審議会等の意見を参考に決定していきたい。

答 今後の市民病院は、その規模や他の圏域との連携も踏まえる必要がある。現在、新型コロナウイルス感染症が収束していないため、建て替え時期も含め、市民病院には市民のニーズにこたえられる地域医療の在り方について、しっかりと検討を続けてもらいたい。また、市としても市民病院が担う役割や機能などを検討すべきと考えるが、



医療設備の更新や環境整備が必要

問 市民と協働するまちづくりの推進のため、市民活動支援センターを大久保や二見地域に

答 市民活動支援センターは、交流場所の提供

市民活動支援センター 西明石・大久保にも設置へ

や団体間のコーディネート機能などを持ち、幅広い年代の市民が利用しており、平成29年4月に、従来の機能を充実させる形で、アスパ明石内の複合型交流拠点ウィズあかしの中に設置した。

新たなセンターの設置は、場所の確保やスキルを持つ人材の配置などの課題がある。市内の中西部地域に設置を望む声があるため、



市民活動支援センター(ウィズあかし内)

問 自治会・町内会への未加入世帯が増加傾向にある。現状認識と今後の取り組みを聞く。

答 本市の自治会加入率は年々低下し、令和4年4月時点では約66%となっている。加入していない世帯がある自治会には、市

自治会・町内会の加入率は66% 未加入世帯が増加傾向 今後の取り組みは

と連合まちづくり協議会が共同で作成した自治会・町内会加入促進マニュアルを配布している。また、宅建業者に対しては、住宅契約時に自治会加入の働きかけを依頼している。マンション建設時に自治会が結成されない場合は、開発業者へ自治会結成に向けた協力を要請し、隣接自治会や校区まちづくり組織と連携し、隣接自治会への加入や新たな自治会結成に向けた取り組みを行っている。災害時などには、住民同士の支え合いが必要であり、より良い地域環境を維持するため、自治会の必要性を訴え、できる限り未加入世帯をつくらない取り組みを進めていく。